

地域情報化アドバイザー制度活用報告書（5日目）

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	みよし市		代表者名	小野田 賢治	
担当者部署	デジタル化推進室		連絡先電話番号	0561-32-2111	
担当者役職	副主幹	担当者氏名	芳村 達史	連絡先E-mail	
住所	470-0295 愛知県みよし市三好町小坂50				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	吉本 明平				
評価	大変よい				
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	管理職向けに自治体DXの概要、背景、必要性をわかりやすく説明していただき、自治体DXを進めていくに当たり管理職が注意すべき点を合わせて助言していただき、受講した職員からは高評価であった。				
アドバイザーへの要望事項	特にありません。				

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）	活動時間（分）
3-1. 活動	2022年1月28日	13時30分	15時30分	10	110
	派遣形態	支援・助言（オンライン）			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果		
5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	60人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 （具体的にご記入下さい）	自治体DXを進めるに当たり、職員の意識改革が重要であり職位に応じた研修や知識の取得、実践の場を設定する必要がある。	
支援により目指す成果 （具体的にご記入下さい）	自治体DXという新しい考え方に早期に対応し、紙中心の業務からデジタル中心の業務に転換を図り、新たな価値の創造に取り組める体制を構築する。	
アドバイザーに支援を受けた内容 （具体的にご記入下さい）	管理職にターゲットを絞り、自治体DXの概要や管理職としての心構えを講演していただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 （具体的にご記入下さい）	職員全体にDX研修をしたことはあるが、職位別にDX研修をしたのは管理職が初めてであり、管理職としてDXの取り組み方に理解が得られた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 （具体的にご記入ください）	新型コロナウイルス感染症対策として、個別研修としたことでどこまで受講されたかはっきりしないが、令和4年4月には今回の動画を使って新管理職を含めて集合研修を実施する。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 当初は、集合研修を予定していたが、まん延防止措置対象区域となり新型コロナウイルス感染症対策として、自席で見れる管理職は見る、正式には後日、集合研修ができる状態になったときに改めて録画視聴で開催することとしたため。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿		
6. 地域情報化アドバイザー支援の様子		



自治体のDX推進について

2022.1.28
APPLIC 吉本明平

